

県民・事業者の皆さまへ（令和2年12月2日～）

直近7日間（11/26～12/2）の
新規感染者数：16名



「新型コロナウイルス感染症対応の目安」の
ステージを「警戒（オレンジ）」に引き上げ

感染拡大を防止するため、今後2週間、県民・事業者の皆さまに以下の取り組みをお願いします。

県民の皆さまへ

<会食について>

- ・可能な範囲で規模を縮小し、可能な範囲で時間を短縮いただくようお願いします。

<基本的な感染防止策の徹底について>

- ・マスクの着用
- ・手洗いや手指消毒
- ・こまめに換気
- ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」に特に注意（別紙参照）

事業者の皆さまへ

- ・ガイドライン等に基づく感染防止対策がきちんと行われているか、改めて確認してください。
- ・感染防止対策が不十分な場合には、対策の徹底をお願いします。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

